

農地利用最適化推進委員の推薦・応募状況(中間公表:令和8年4月15日まで)

受付番号	候補者										推薦をする者							推薦・応募の理由	
	推薦・応募の別	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	推薦・応募する区域	農業委員への推進・応募		氏名又は法人・団体の名称	法人又は団体				個人			
									有	無		代表者又は管理人	構成員の数	構成員の資格・要件	目的	性別	年齢		職業
1	団体推薦	矢田 美宏	男	65	農業	昭和60年～令和3年 佐渡市消防本部に勤務 令和3年4月～ 農業に従事	耕作面積 50.4a(水稲) 年間200日農業従事	金井		○	貝塚集落	集落区長 本間 隆	97	貝塚集落に住む人	集落の運営				これまでも集落内の要職を務め、農業に関する見識を有し、周囲からも厚い信頼がある。
2	団体推薦	和泉 幸貴	男	66	兼業	平成3年～令和6年 佐渡汽船運輸㈱に勤務 令和6年～ 中川商事に勤務 平成12年～ 農業従事	耕作面積 300.7a 水稲 300a アスパラ 0.7a	羽茂		○	滝平自治会	自治会長 中川 清司	50	滝平地区在住	自治会の運営				これまでも集落内の要職を務め、農業に関する見識を有し、周囲からも厚い信頼がある。
3	団体推薦	梅田 京子	女	57	兼業	昭和62年4月～平成19年10月 内藤電誠工業㈱に勤務 平成21年8月～平成23年8月 JA羽茂に勤務 令和6年4月 羽茂こども園バス添乗員	耕作面積 41a 水稲 27a 果樹(柿) 7a 畑 7a	羽茂		○	東仮屋集落	東仮屋代表 浜岡 勝	36	東仮屋集落の住民	集落の運営				農業経験等から農業の知識が豊富で一生懸命取り組んでいて、適任と思うから
4	応募	金子 真玉	女	47	農業	平成9年～平成21年 (有)ワタナベ測量設計勤務 平成24年～令和2年 (有)弥吉丸勤務	耕作面積 130a	赤泊		○									前任者の推薦。遊休農地の発生防止や解消。農地の有効利用を図り地域農業を活性化したい。
5	個人推薦	高野 彰	男	66	兼業	昭和57年4月～令和2年3月 新潟県に勤務 令和2年4月～ 相互技術㈱佐渡事務所(事務所長)	水稲 80a 自家消費果樹・野菜栽培	畑野		○	川上 輝雄					男	68	農業	自ら農業(水稲)を営んでおり地域からの信頼も深く、過去の経歴からも農業分野に秀でておられます。また現在ではJA畑野支店の営農推進員を就任しており小倉地区の農業状況を十分把握しておられます。
6	個人推薦	大瀧 知之	男	68	農業	昭和51年～令和6年2月 JA佐渡に勤務 令和6年3月～ 農業に従事	耕作面積 150a 水稲 150a	新穂		○	池野 俊昭					男	70	無職	JA佐渡に勤務しており、農業に精通しているから
7	個人推薦	佐々木 芳和	男	60	農業以外	昭和59年4月～令和8年3月 佐渡市消防本部に勤務		羽茂		○	佐々木 俊則					男	61	農業	今年退職され、今まで使用していない農地の利活用の事例等を見て地域農業のプラスになってもらいたく、お願いしました。
8	団体推薦	鈴木 智重	男	48	兼業	平成12年～令和4年 ヤマト運輸㈱に勤務 令和5年～令和8年 JA佐渡 研修生 令和8年～ 農事組合法人勤務	水稲 650a	金井		○	中興区	区長 武井 和則	300	中興区内に住居及び事業所を有するものをもって組織する	相寄り、相助け、相互の親睦を深め、品位の陶冶と生活の向上を図ることを目的とする。				農業には長年携わっており、農地利用関係法令も承知していて、これから規模拡大を図り、積極経営で地域農業に貢献することが期待されている。また、地域の課題である担い手問題についても、解決策を見いだしてくれることが期待されている。
9	団体推薦	松川 慎吾	男	63	農業	平成12年～平成24年 農業に従事 昭和56年4月～平成27年3月 佐渡消防本部に勤務 平成27年～ 専業農業	耕作面積 199a 水稲 97a 果樹(柿) 102a	羽茂		○	大泊集落	集落長 渡部 義信	42	集落内に居住・籍がある者	集落内の各種調整・行事の実施				これまでの職歴・農業経験等から地域の農業について精通しており、地域の信任を得ている。

10	団体推薦	キノタ エミコ 木下 恵美子	女	70	農業	昭和49年4月～昭和53年 会社員 昭和53年～令和3年3月 会社員・兼業農家 令和3年4月～ 専業農家	耕作面積 13a 水稲 8a 野菜 5a 年間150日農業従事	赤泊		○	山田惣代所	鶴間 鉄夫	47	山田地区の住民	地域的な共同活動を行うことにより良好な地域社会の維持及び形成に資することを目的とする。	長年会社務めと両立しながら水稲や野菜作りに精励してこられた経験は、兼業農家が多い当地域の良き理解者として大きな強みです。また、前職の介護職で培われた相手の立場に寄り添う丁寧な対話力と細やかな目配りは農地の調整というデリケートな課題に対しても地域住民の信頼を得ながら円滑に進めていただけるものと確信しております。その貴重な人生経験と責任感に期待し自信をもって推薦します。
11	応募	カネコ シンゴ 金子 伸吾	男	68	兼業	昭和54年～平成30年 丸栄産業(株)勤務 平成31年～ (有)はまや 小木みかん生産組合長 佐渡みかんクラブ クラブ長 令和2年～ 佐渡市農業委員会農地利用最適化推進委員	水田 10a みかん田 14a レモン 5a 梅 3a 自家用野菜 3a	小木		○						2期の農地利用最適化推進委員の経験とみかん生産組合長、佐渡みかんクラブ長の人脈を活かして遊休地の利用方法を考えて取り組んでいきたい。
12	応募	フシタ カスヤ 藤田 一也	男	63	兼業	平成元年～平成22年 中野建設工業に勤務 平成22年～ 農業に従事 平成29年～ 佐渡市農業委員会農地利用最適化推進委員	耕作面積 140a 水稲 60a 畑 80a 年間200日農業従事	小木		○						地元での営農組織の立ち上げに参加し、遊休農地の解消に取り組んでいる。他の地域でも遊休農地の発生の予防や解消に貢献したい。
13	団体推薦	カチノ 村菜々 野口 菜々	女	31	農業以外	平成29年4月～ 赤泊にUターン かやの実会の事業を継承 令和5年12月～ たい焼き店		赤泊		○	徳和自治会	鶴間 正行	184	徳和地域の住民	地域的な共同活動を行うことにより、良好な地域社会の維持及び形成に資することを目的とする。	地元菓子製造事業であった「かやの実会」の二代目として事業を受け継ぎ「地元の宝を守り、次世代へつなぐ」という強い使命感を持っています。榎の実の採取を通じて日々地域を歩き、土地の状況を熟知している彼女だからこそ、高齢化による耕作放棄地の増加といった困難な課題にも、当事者意識をもって真摯に向き合えるはずと。女性ならではの感性と、しなやかなバイタリティを生かし、地域の農業を明るく活性化させる役割を担っていただきたく、ここに推薦します。
14	個人推薦	アンドウ ヒカル 安藤 光	男	71	農業	昭和52年～平成4年 内浦漁協に勤務 平成4年～平成11年 両津郵便局に勤務 平成11年～平成27年 内浦漁協に勤務 平成27年～ 農業に従事 平成29年～ 佐渡市農業委員会農地利用最適化推進委員	耕作面積 91.4a 水稲面積 91.4a 年間150日農業従事	両津		○	渡邊 秀一					推進委員3期。地域の事に精通して大変頼りになる。農地の維持や活用にも取組まれている。
15	個人推薦	ツルマ カミ 鶴間 克己	男	61	農業	平成元年～令和5年3月 佐渡市役所勤務 令和5年4月～ 農業従事	水稲 414.5a 果樹りんご 8a ぶどう(ハウス) 2a	真野		○	佐々木 克之					農業経営に対して熱心に取り組んでいる。
16	団体推薦	イワキ ヒロキ 岩脇 秀樹	男	68	兼業	昭和57年～平成25年 佐渡農業協同組合に勤務 平成29年～ 佐渡森林組合常勤役員として勤務 平成29年～佐渡市農業委員会農地利用最適化推進委員	耕作面積 380a 水稲 380a	両津		○	鷺崎集落協定	代表 木村 岩雄	17	本協定の目的達成に賛同する者	耕作放棄地の発生防止と持続的な農業生産活動を行い集落の多面的機能を確保すること。	これまでの職歴、農業経験等から地域の農業について精通しており、地域の信頼を得ているため。
17	団体推薦	ノギ ケンサク 野崎 健作	男	66	農業	昭和56年～平成2年 JA佐渡勤務 平成18年～ 畜産農家	耕作面積 158a 水稲 15a、牧草 143a 年間300日農業従事	相川		○	戸地営農組合	代表理事 山本 真佐夫	17	地区内に住所を有する農民で組合に出資した者。	農具・生産の協業を図り生産性の向上と共同の利益の増進をする。	JA佐渡に勤務、退職後は畜産農家(肉用繁殖牛)として耕畜連携等地域の農業振興に貢献している。農業に関する高い見識を有し周囲からの熱い信頼を得ている。

18	団体推薦	イマカ 今河	アキコ 明彦	男	70	農業	平成15年6月 ㈱新潟メンテック勤務 平成19年7月 ㈱共立テクノ 取締役就任 至現在 平成22年12月 ㈱新潟メンテック 代表取締役就任 令和7年1月 代表取締役退任 昭和57年～ 農業従事	耕作面積58a 水稲50a 畑8a 年間120日農業従事	畑野	○	栗野江区民会	栗野江区民会 区長 今河 明彦	123	この区域に住所 を有する個人	区民の共存共栄を本旨とし、その総意を基として各種地域的な共同活動を行うことにより、良好な地域社会の維持及び形成に資する事を目的とする。	これまでの職歴・農業経験等から地域の農業について精通しており地域の信任を得ているため
----	------	-----------	-----------	---	----	----	---	------------------------------------	----	---	--------	-----------------------	-----	-------------------	---	--